

市民ワークショップ 各グループ発表内容

テーマ	Aグループ	Bグループ	Cグループ	Dグループ
新病院に期待すること	<ul style="list-style-type: none"> 東濃医療圏（二次医療圏）の地域医療を担う中核病院としての役割。 将来の人口や医療需要の推移を見据えた現実的な病院計画。 午後診や夜間休日の医療提供。 診察や会計の待ち時間の抑制や予約や併科受診の効率化など、AIやICTを活用しながら利便性の高い診療環境の整備。 安心して出産ができ、出産後の子育てもしやすい周産期医療の提供。 より専門性の高い救急医療の提供。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育園などの小児（患児）の医療ケアが必要。新病院は、市民が安心して生活できる病院。 2次医療を完結できる病院、全市民が納得いく病院。高度医療、先進医療を提供可能な大きな病院。 公的役割を果たすため、医療機器や設備などを充実し、診療・治療処置を完結する病院。 患者本位、患者にやさしい病院。なんでも相談できる機能（窓口）を整備。 予約や受付機能をIT、AIなどを導入し利便性の高い病院。治療が完結できる病院。 	<ul style="list-style-type: none"> 産科や小児科の充実（できれば専門医） 高齢者対応。総合的に見てくれる診療科。 地域住民の命を守る。 人材育成（医師、看護師）。 障害児や医療的ケア児の受け入れ。 歯科や産科／婦人科。 何の病気か分からない患者が気楽に相談できる。ハードル下げる。 	<ul style="list-style-type: none"> 診療時間は午後の診療、夜間診療もあると良い。 二次救急体制を充実して欲しい。 小児科、産婦人科に強い医療体制を作って欲しい。 医師の確保。
新病院に求める機能	<ul style="list-style-type: none"> 良質な医師の確保と現病院に不足する診療科目の充実。特に、産婦人科、小児科、眼科、泌尿器科など。 アクセス道路などのインフラ整備、巡回バスなどの通院手段の整備。 新興感染症への対応病床の整備。 へき地医療への医療提供。 アメニティ施設の充実。 地域包括ケア病棟による在宅移行支援（レスパイト入院への対応も含む）。 小児リハビリテーション。 託児所、保育所。 市民の憩いの場「ピアスペース」 	<ul style="list-style-type: none"> 診療科が充足し、幅広く診療を受けられる病院（産科は絶対必要）。 精神児童科や地域に不足する診療科を整備。 診療にあたり、ITなどを使い、住民に利便性の高い病院（遠隔診療、web診療等）。 周産期医療、小児科。小児医療に関してはいつでも気軽に、幅広く相談できる部門（窓口）を整備。 へき地医療、訪問診療、訪問看護、在宅医療の充実。 小児救急に対応する小児科。 他の医療機関にない脳神経外科などの特徴ある診療科の充実。 	<ul style="list-style-type: none"> 交通手段の確保。循環バスの充実。恵那から来る患者。 「整備方針」の内容の実現 親が受診する際に子どもを一時預かりしてもらえる。 女性専門外来。思春期からおばあちゃんまで、体と心の両方を診られる女性専門科。 巡回バス。中津川のようなドクターカー。 児童精神科（受け入れ施設が無く、今は3ヶ月～3年待ち）。 ゆりかごから墓場まで、全診療科で終末期医療まで診れるのが理想。今は医療が細分化している。患者が理解して安心できる道筋。 	<ul style="list-style-type: none"> 脳疾患等の高度医療体制の充実。 小児・産婦人科の充実。 オンラインでの予約。 新型コロナ等の感染症対策にしっかり取り組む。 病院へのアクセス確保。巡回バスを確保。 駐車場の確保。面会者が来院しやすい環境を整える。 院内の動線を分かりやすくして欲しい。 待ち時間の短縮。
新病院の規模		<ul style="list-style-type: none"> 医師確保のため、できるだけ多くの診療科、大きな病床規模。病床規模については、コロナのような感染症の緊急時にも対応可能な病床規模を確保。 	<ul style="list-style-type: none"> 病床規模は整備方針の通りでよい。 初診料が上がらないような病床規模。350床程度。 	<ul style="list-style-type: none"> 医師を確保しやすい規模の病院。
その他の意見	<ul style="list-style-type: none"> より多くの市民の意見を反映した親しみやすい病院づくり。 新病院の整備経過の随時市民への周知。 既存病院がなくなることにに対する不安の解消。 	<ul style="list-style-type: none"> 建設予定地に対する不安がある。住民に対する説明不足。住民の不安解消、不信感の解消の面で、今後は、随時、情報提供。 通院手段や、訪問診療の整備強化など、通院手段、巡回バスは、是非とも設置。 医師確保した後も、医師が離職しない、働きやすい職場環境や病院。 患者さんの待ち時間対策、高齢者対応を要検討。 	<ul style="list-style-type: none"> 事務の効率化などで待ち時間の短縮。 道路が渋滞しない仕組み。 早めの情報の提供。統合反対の人達の意見も取り入れて欲しい。 障害児保育園。 迷わない分かりやすい動線や案内表示。 土岐総の跡地を診療所として利用できないか。廃止されると困る人達もいる。 国の言うことを受け入れるだけでなく、議会も含めて市側から国に対して意見を出す形。 	<ul style="list-style-type: none"> 東濃厚生病院跡地を分院等にして活用して欲しい。

市民ワークショップ 各グループ発表内容

			<ul style="list-style-type: none">• 東濃厚生病院はまだ新しいのに、何故また新しい病院を作るのか。理由を聞きたい。• 病院の人と市民とが定期的に意見交換できる場。市民が応援してやる気が出るよう。• コロナなど新規感染症への対応。今回の教訓を活かして欲しい。• タクシー会社と契約して相乗りできるよう。• 十分な駐車台数の確保。駐車場の無料化。• 利用者の費用負担の少ない交通手段確保。• 屋上にドクターヘリ用のヘリポート。	
--	--	--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--